



CHASEBLISS
AUDIO



MOOD

取扱説明書



(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

気まぐれなムード。最高なムード。

M O O D は 2 チャンネルのグラニューラー/マイクロルーパー/ディレイです。遊び心と即効性を同時に追求し、相互に作用するようにデザインされています。M O O D のそれぞれのチャンネルは相互関係にありオーディオ信号が自在に行き交うことで、時間の経過と共にシグナルは進化し、トランスフォームしていきます。

Drolo FX とのコラボレーションで誕生した  チャンネルは、常に録音し続けるマイクロルーパーを搭載。  チャンネルは **Old Blood Noise Endeavors** の協力で幻想的なライブ空間エフェクトをセットしました。それぞれのチャンネルの接続は 3 種類のオプションから選択ができます。

ディレイタップの雲の中にタイムストレッチさせたループを走らせて、更に再度レコーディングすれば、オーバーダブ、フリーズ、メルトダウン、水彩画のような滲んだトーンを楽しめます。このデバイスの肝となるのは、それぞれのチャンネルを同時に加速/減速させて音階でハーモナイズさせる"clock control"です。再生させたループを一瞬で鳥の囀りにトランスフォースさせたり、リバーブを淡く霞んだノイズへ変貌させます。そして他の Chase Bliss のペダル同様、フル MIDI コントロール、dip スイッチ、そしてプリセットの保存/呼び出しに対応しています。

M O O D は貴方のコンパクトかつシュールな水彩カラーパレットです。

MOODでは2つの異なるモードを搭載しています。

【🔥】のマークがあるチャンネルは **Old Blood Noise Endeavors (OBNE)** とのコラボレーションで3モードの「空間エフェクト」を搭載。

【🌀】のマークがあるチャンネルは **Drolo FX** とのコラボレーション・チャンネルで「グラニューロマイクローパー」が装備されています。このマイクローパーは【🔥】チャンネルの後に配置して、エフェクトさせたシグナルをループさせることもできます。

CHANNEL TOGGLE

【🔥】チャンネルトグルスイッチ

【🔥】チャンネルには幻想的なライブ空間エフェクトが搭載されています。🌀チャンネル、インプット、またはその両方にエフェクトを掛ける事ができます（真ん中のトグルスイッチで切り替え）。これらのアルゴリズムはTIMEとMODIFYノブで調整します。

REVERB

細かいディレイタップの集合体を滲ませることで残響を生成します。空間を支配する残響から、マルチタップディレイ、コムフィルタ（フランジャーのようなトーン）まで自在に可変します。TIMEノブでディレイタップ全体のタイムを設定します。MODIFYを時計周りに回すと、「滲み」の割合が増えていきます。クリーンなリピートから飽和した残響までコントロール可能です。

DELAY


DELAYはルーピングディレイです。このモードはclockノブを調整しつつプレイすると更に効果的になるよう設計されています。一度ループを録音してclockを変えてハーモナイズさせ、別のclockで別のループを更に重ねていきましょう。



TIME はディレイタイムを設定します。タイムを変更していくと、特定のタイムの場所でディレイにグリッチが混ざります。これは意図されたもので、それらのスポット間のスムーズな切り替えを実現するためのものです。またこのグリッチは TIME を ramp 機能に割り当てたとき、独創的な響きを産みます。MODIFY はルーピングディレイのフィードバックを設定します。MODIFY をフルに時計回りに回し切ると、フィードバックは永続しルーパーのように積み重なっていきます。（発振はしません。）

SLIP

SLIP モードは調整可能なプレイバックヘッドを備えたバッファーです。半分の速度から 2 倍速、さらに再生方向を逆回転方向にも調整できます。TIME はバッファーの長さをセットします。短いサンプルだと効果の速いグラニューラーエフェクト、長いサンプルだと全体のフレーズ全てをキャプチャーしディレイのように全体を反転させます。MODIFY はバッファーされたサウンドの再生スピードと再生方向を調整できます。

CHANNEL TOGGLE

【】チャンネルトグルスイッチ

【】チャンネルは常に録音が行われるマイクロルーパーです。ペダルをバイパスしているときに常に  チャンネルをレコーディングが行われています。チャンネルをオンにすると、最後のフレーズがループとしてプレイバックされます。これらのアルゴリズムは LENGTH と MODIFY ノブで調整ができます。

クロックを上げると高音質かつ短いループに、クロックを下げるとローファイ音質で長いループになります。新たな録音を行うと前のループを上書きします。

ENV

ENV モードはプレイバックされるループに直接割り込み、スタッターエフェクトやタイムストレッチ、フリーズトーンなどを一瞬混ぜることができます。プレイをやめると、ループは通常通り再生されます。ループを細かくスライスすることでエフェクトを混ぜ込みます。どんなスライスが再生されていても、別のエフェクトを割り込ませループさせることができます。

LENGTH はスライスのサイズをショートフレーズから僅かな粒子状まで設定します。反時計に回すとかなり細かい設定になり、一瞬の短い瞬間にフォーカスします。時計回りだと短いフレーズをリピートするようになります。MODIFY はエンベロープ検知のセンシティブリティを設定します。時計回りでよりセンシティブになり、弱い入力でエフェクトが混ざるようになります。

TAPE



TAPE モードはループの再生速度と再生方向を調整してクオンタイズさせることができるルーパーです。LENGTH はループを粒子状にスライスします。反時計に回すほど粒子サイズを小さくし、ループがより不連続に、膨張しメルトダウンしていきます。MODIFY はループの速度/再生方向を設定します。左回しきりから右に回していくと、以下の通り再生方向と倍速が変化していきます。リバー스는逆回転方向に、フォワードは順方向にループを再生します。。

リバーズ/4x, リバーズ/2x, リバーズ/1x, リバーズ/0.5x, フォワード/0.5x, フォワード/1x, フォワード/2x, フォワード/4x


STRECH

STRECH モードはループをタイムストレッチさせ、短い瞬間にフォーカスし滲ませることができます。LENGTH はストレッチさせるループの量を設定します。時計回りでループ全体までフォーカスさせられ、反時計に回すとより短いループ量になります。MODIFY はストレッチ量を設定し、時計回りでストレッチ量が多くなります。

MIX (RAMP)


ramp 機能にどの dip スイッチもアサインされていないとき、このノブはミックスコントロールになります。反時計に回しきるとドライ信号のみが出力され、時計回しでエフェクトのボリュームが上がっていきます。右に回しきるとキルドライ設定です。もし回しきりの状態から更にドライ/エフェクト音が欲しい(または減らしたい) 場合、内部のトリマーで調整ができます。dip スイッチで ramp 機能が有効なとき、このノブに 5 つのノブ (Time, Length, Modify , Modify , clock) を割り当てて同時に、または独立してコントロールができます。また dip スイッチでモジュレーション (bounce) またはランプアンドホールド (rise または fall) も設定できます。その場合、このノブは ramp time を設定します。








CLOCK




このノブはそれぞれのチャンネルのレコーディングとプレイバック両方に関係する包括したコントロールです。サンプルレートはクロックの値の半分となります。また、このノブは  チャンネルの録音するループの長さを決定します。

64k = 0.5s, 48k = 0.75s, 32k = 1s, 24k = 1.5s, 16k = 2s, 12k = 3s, 8k = 4s, 6k = 6s, 4k = 8s, 3k = 12s, 2k = 16s. 赤い LED は録音されているループの長さで瞬きます。

IN、 IN + 、 トグルスイッチ



真中のトグルスイッチは両方のチャンネルがオンのときのみ使用します。  チャンネルでの処理される信号を設定します。

- 1、  ポジション =  チャンネル (マイクロルーパー) が  チャンネル (空間エフェクト) に送られます。 IN(入力ジャック)のサウンドは、  チャンネル (空間エフェクト) には送られません。
- 2、  +IN ポジション =  チャンネル (マイクロルーパー) + IN(入力ジャック)のサウンドは共に  チャンネル (空間エフェクト) に送られます。

3、IN ポジション = IN(入力ジャック)の信号が チャンネル (空間エフェクト) に送られます。チャンネル (マイクロルーパー) のサウンドは、チャンネル (空間エフェクト) には送られません。



& チャンネル・バイパスフットスイッチ

それぞれのチャンネルのオンオフを設定します。ペダル背面の dip スイッチから、**モーメンタリーバイパス** (フットスイッチを踏んでいる間だけオン) にも変更できます。

チャンネルでサンプルがプレイバック中 (LED が緑)、のフットスイッチを長押しすることでモーメンタリーでループを録音できます。スイッチを離すと再度プレイバックします。

プリセットスイッチ (下のトグルスイッチ)

1 番下にあるトグルスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。

トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ  を 3 秒長押しし、そのまま  フットスイッチを押しながら tap/hold のスイッチも同時に 3 秒間押します。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。

トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変わったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN/OUT

1/4"モノインプットジャックです。


EXP/CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では Roland EV-5 にて動作確認をしています。スタンダードなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5 の CV (コントロールボルトテージ) を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい

MIDI



Chase Bliss MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については後記する MIDI チャートを御覧ください。

ノーマリーオープンのフットスイッチを繋ぐと、チャンネルのオンオフを切り替えるセカンダリスイッチとして使用できます。

電源について

消費電力は 150mA。スタンダードな 2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライで動作します。200mA 以上のパワーサプライがお勧めです。標準的な 100mA のパワーサプライでは動作に異常が発生する場合があります。

EXP / CV コントロールと dip スイッチについて

「on off」側の Time, Length, Modify , Clock, Modify  の dip スイッチを on にすると、エクスプレッションペダル / CV に機能を割り当てることが出来ます。割り当てる機能は一つでも複数同時でも有効です。

EXP/CV ジャックに何らかの機器を繋いで、かつ dip スイッチで何も割り当てていない場合、MIX ノブをエクスプレッションペダルまたは CV 信号でコントロールすることが出来ます。“Rise”と“Fall”動作を DIP スイッチで変更できます。

エクスプレッションペダル/CV のレンジ設定

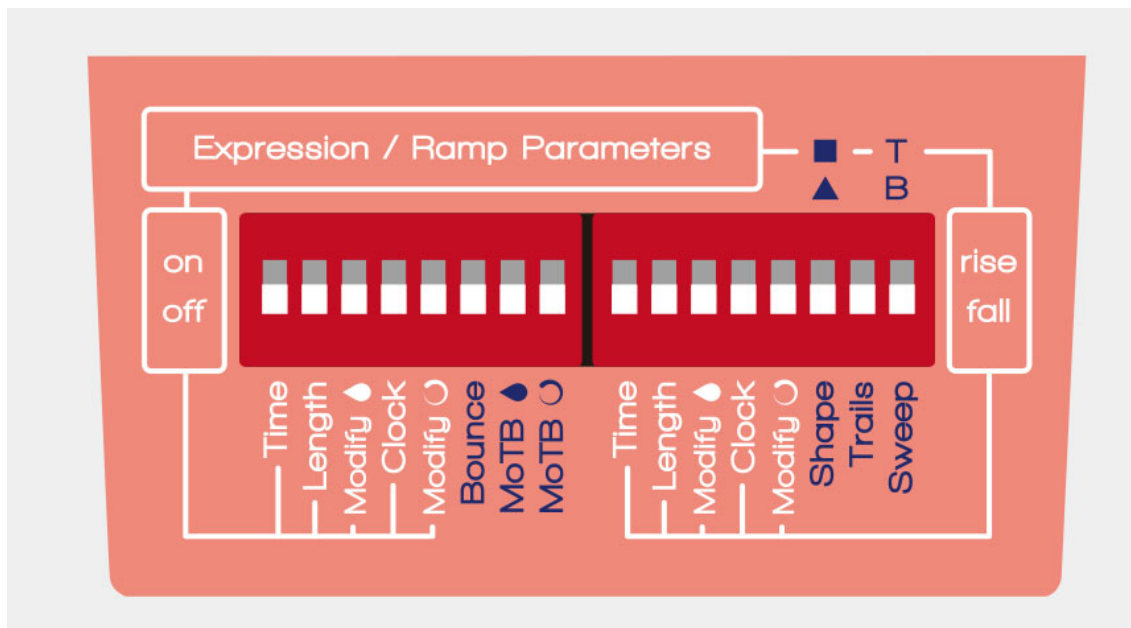
エクスプレッション/ CV の範囲は、パラメーターノブの位置と“Sweep”ディップスイッチによって制御されます。たとえば、エクスプレッションペダルを使って CLOCK パラメータを 2kHz から 16kHz (ノブが 12 時の位置) まで調整できるように設定したいときは、Sweep dip スイッチを B (Bottom) に設定し、MIX ノブを 12 時位置に設定します。範囲をもっと高いクロックレートに上げたい場合は、単に CLOCK ノブを右方向に回します。これでエクスプレッションペダルでコントロールする幅を広げることが出来ます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅を微調整できます。

● Sweep dip スイッチを **B(Bottom)** に設定した場合は、ノブは可変範囲の「**最高値**」を決定します。エクスプレッションペダル (または CV) で可変できる範囲は、“ノブの最低値(Bottom)” から “ユーザーが設定したノブ位置 (最高値)” までとなります。仮にノブをセンター位置に設定してその値を仮に 50 とすると、エクスプレッションペダルで可変される範囲は最低値 0~50 の間です。ノブ位置を仮の値 60 に設定すれば範囲は 0~60 となります。

● Sweep dip スイッチを **T(Top)** に設定した場合は、ノブは可変範囲の「**最低値**」を決定します。エクスプレッションペダル (または CV) で可変できる範囲は、“ノブの最高値(Top)” から “ユーザーが設定したノブ位置(最低値)” までとなります。。仮にノブをセンター位置に設定してその値を仮に 50 とすると、エクスプレッションペダルで可変される範囲は最大値 100~50 の間です。ノブ位置を仮の値 60 に設定すれば範囲は 100~60 となります。

dip スイッチについて

dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみてください。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。





※プリセットを保存すると、dip スイッチの設定も全てプリセットに保存されます。



※ramp の動き（各パラメーターの動き）は、バイパスごとにリセットされます。エフェクトを ON にしたあと、各パラメーターは dip スイッチの設定に関わらずノブの位置に設定されます。

・「on off」側の Time, Length, Modify[●], Clock, Modify[○] : RAMP、エクスプレッションペダル/CV にパラメーターのコントロールを割り当てます。

・「rise, fall」側の Time, Length, Modify[●], Clock, Modify[○] : パラメーターを RAMP ノブに割り当ててコントロールしたとき、ノブを右に回してパラメーターが上がる (rise) または下がる (fall) を決定します。エクスプレッションペダルを接続しているときは、エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するときにペダルの踏み込みでノブが右回し (最大) になる = rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回し (最小) になる = fall モードを設定します。

・ **Bounce** : このスイッチを on にしてかつエクスプレッションペダルが接続されていないとき、各パラメーターは自動的に可変します。(モジュレートします)

・ **MoTB**  : チャンネル  をフットスイッチを押している間だけオンになるモメンタリー動作に変更できます。

・ **MoTB**  : チャンネル  をフットスイッチを押している間だけオンになるモメンタリー動作に変更できます。

・ **Shape** : この DIP スイッチの変更で Raming の波形を三角波 (標準) から、矩形波に変更する事ができます。

・ **Trails** : バッファードバイパスが有効なときに、Trails を設定するスイッチです。Trail をオンにすると、バイパスしても残響がすぐにカットされず自然に残るようになります。オフにするとペダルのバイパスと同時に残響もカットします。Buffer が有効でないときは Trails を設定できません。

・ **Sweep** : RAMP ノブとエクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

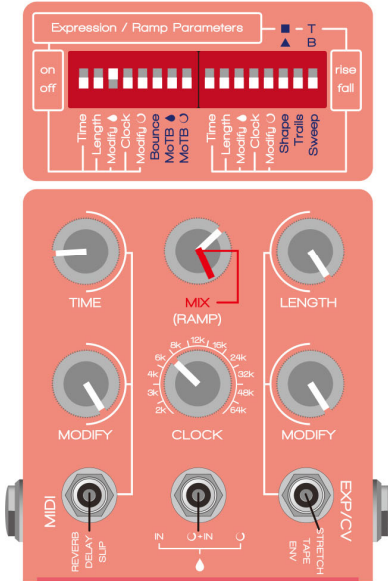
T (Top) ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B (Bottom) では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間で設定されます。

サンプル設定

これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または
soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。

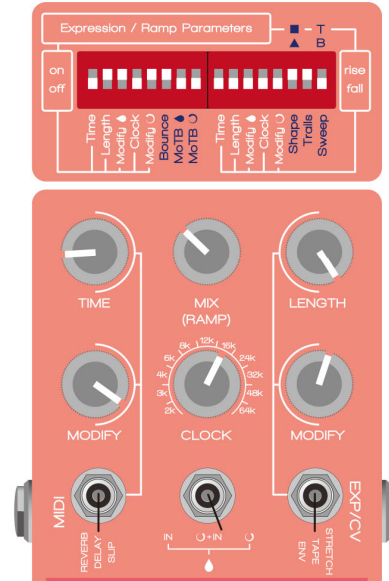
SWEET BERRY WINE

Active Channels  



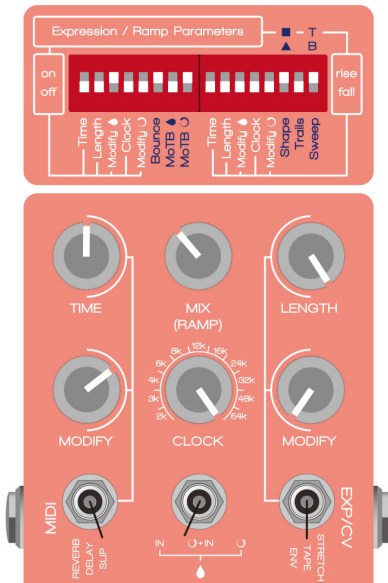
CELERY MAN

Active Channels  



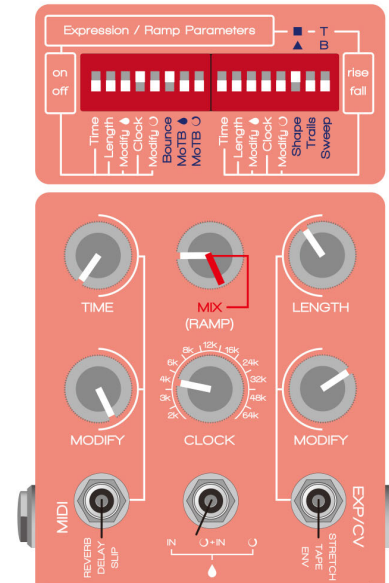
ALL THE FOOD IS POISON

Active Channels  



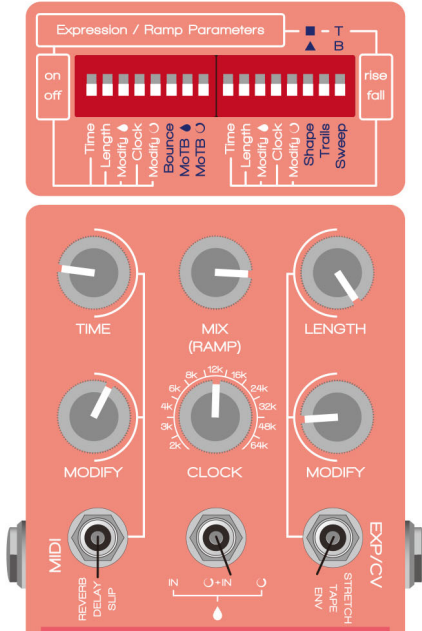
NUDE TAYNE

Active Channels 



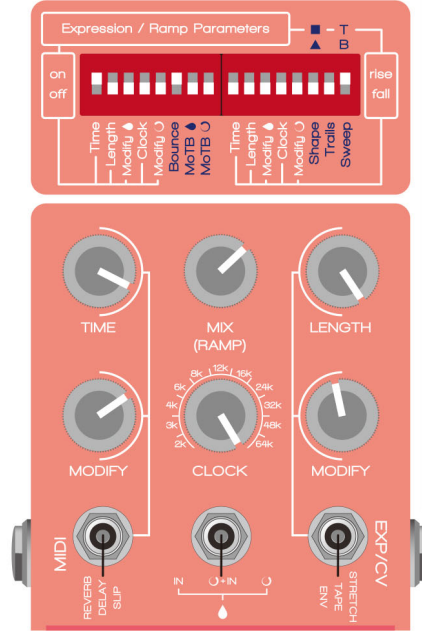
TITTLEMAN'S CREST

Active Channels  



WHERE'S MY CHIPPY?

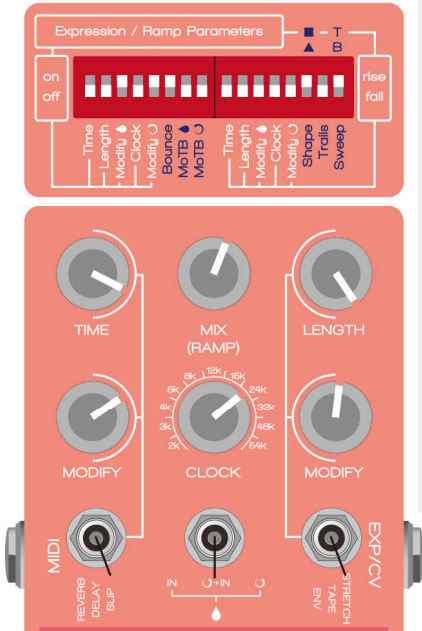
Active Channels  



Note: The Clock parameter is being manually ramped on this setting.

KRUNKLE KICK

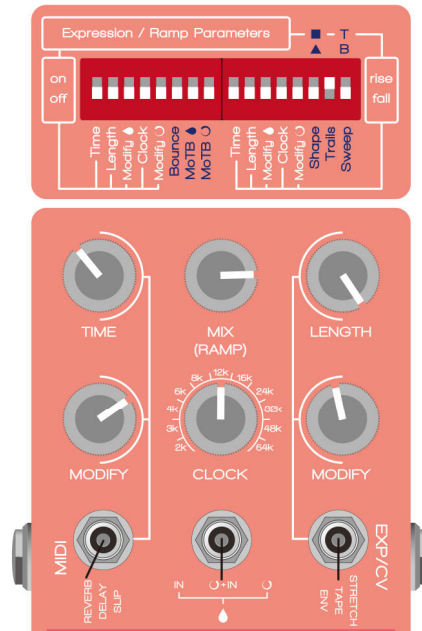
Active Channels  



Note: The Clock parameter is being manually ramped on this setting.

BUSINESS HUGS

Active Channels  



MIDI について

M O O D は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

別売りの Faves MIDI コントローラーを使用すると、6個までのプリセットを保存して呼び出せます。Faves 以外の MIDI コントローラーを使用する際は、以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、M O O D の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。
2. デフォルトでは M O O D は MIDI チャンネルの 2 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、A と B スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを M O O D に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し







MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の 両方のフットスイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

コントロールチェンジメッセージ

M O O D は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

パラメーター	CC#	説明
TIME	14	0を送信すると、ノブを左に回しきると同じになり、127を送信すると完全に右に回しきりになります。 中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。
MIX	15	
LENGTH	16	
MODIFY 	17	
CLOCK	18	
MODIFY 	19	
 トグルセレクト	21	1で左、2で中央、3で右のトグルスイッチポジションになります。
Routing トグルセレクト	22	
 トグルセレクト	23	
エクスレッション	100	0を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体のdipスイッチで設定します。
バイパススイッチ	102	127を送信すると最後に保存された状態でペダルをオンにします。0を送信でペダルをオフにします。
バイパススイッチ	103	127を送信すると両方のチャンネルをONにします。85で  チャンネルのみ、45で  チャンネルのみをオンにします。0で両方のチャンネルをバイパスします。